

た3名の物故者に、黙祷を捧げた。

会長挨拶後、規約に基づき会長が議長となり議事に移った。28年度の行事・会務及び会計収支が報告され承認された。

次に、平成29年度事業計画を審議し会員減少に伴う会費収入の減少から、今後事業の縮小・経費の節約、偕行社との一体化推進のため、年会費を千円減額して2千円とし、偕行（会）会員を確保していくことが承認された。

副会長は、今年度も欠員とし、現会長が事務局を兼ね、引き続き担当する。

総会では「後継者をいかに確保して、会の継承基盤を拡充していくか」が最大のテーマであり、意見交換を図った。

偕行会の主旨に賛同される事務官OBにも入会を、又海・空の元自にも勧誘することも大切ではないかの意見もあった。

総会終了後、懇談会を兼ねた昼食会に移った。昼食会には金沢駐屯地司令代理で山本第14普通科連隊副連隊長、2年前に第14普通科連隊を途中退職し金沢市議会議員に当選した坂本泰弘氏を来賓に迎えた。副連隊長の挨拶に引き続き、坂本市議から、教育と市民の防衛意識についてのコメントがあった。

参加者は11名で、予想をはるかに下回った。出席者を予想し一昨年度まで行ってきた講演会は取止め、総会と昼食会を兼ねた懇親会を開催した。

老人ホームから、車椅子で総会に出席された寺口雪也様58期の乾杯の音頭で会食が始まった。なお、寺口様は昨年度も参加され、偕行への強い思いに出席者一同感動させられた。

会食の合間に健康状況等近況を話して戴いた。また、岡田様陸自59から、3月

10日「第4回偕行社元幹部自衛官会同」での講演会での話しを賜わった。話しがはずみ、予定より30分もオーバーし1時30分、来年度の総会での再開を約束し散会した。

出席者は次の通り（敬称略順不同）

58期 寺口雪也

61期 中野利男 水口信夫 池上 弘

新谷秀成

陸自59 岡田展旺 陸自61 真館 啓

陸自61 本田敏郎 陸自63 千川康夫

陸自71 西川 清 陸自101s 浅地秀一

（記：4月1日 千川康夫）

石川県偕行会総会

平成29年3月25日、29年度総会を金沢駅前の「ガーデンホテル金沢」で開催した。例年3月10日の陸軍記念日に開催したが、北陸新幹線開業後3月は金沢で学会が開催され、出席に便利な駅近くで総会を開く場所がなく今年度も下旬に行つたものである。

